

第75期

業務報告書

(自 令和4年4月1日 ~ 至 令和5年3月31日)

当金庫の自己資本比率

(令和5年3月末現在)

13.63%

(国内基準 4%)



三年ぶりの北上芸能祭り

 **北上信用金庫**

ご 挨拶

風薫る季節となり、会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに当金庫第75期の事業の概況と決算のご報告を申し上げます。

事業の概況

当期の国内経済は、新型コロナウイルス感染症が拡大局面からゆるやかに収束局面に移行している中、個人消費は、家計の行動抑制の緩和からサービス関連を中心に回復が進んでおり、今後も感染動向の景気への影響は縮小していくと考えられます。一方で、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻等地政学リスクの顕在化による資源高や円安の進行により物価上昇していることで節約意識の高止まりによる景気停滞が懸念されております。

当地域経済は、大手半導体企業の2棟目となる新工場建設工事が進んでいる中、地域商況は堅調に推移しておりますが、有効求人倍率2.1倍（令和5年2月）が影響し多くの中小企業者において人材確保が困難となっており、今後についても人材不足が懸念されております。

こうした経営環境の中、当金庫は新中期3か年経営計画「支援力強化！～地域経済の力強い回復を目指して～」の中間年度として、地域・お客様の課題解決と持続可能な経営基盤の強化の2つを重点戦略として掲げ、一層の地域貢献を果たすべく、取引先・会員への安定した資金供給や利便性の向上に向けて積極的に取組んでまいりました。個人向け支援の窓口として「きたしんローンプラザ」を日曜日や平日夕刻6時まで営業し、住宅資金や消費者ローンの需要に対応したほか、来店不要で申込から契約まですべてWEB上で行うWEB完結ローンの取扱商品を拡充し、お客様の利便性向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染症による影響を受けている取引先への訪問・相談を強化し、資金繰り支援や経営改善支援等に取組みました。

地域貢献事業については、「ビジネスマッチング」等による販路拡大支援、産業支援センター主催の「創業支援塾」を北上市・西和賀町と連携しての開催や「よろず支援拠点」との連携による経営課題解決支援に取組んでまいりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響から外出を控える方が多い中、来店客も減少している当金庫取引先飲食店の認知度向上や売上支援を行うことを目的として、当金庫各店舗の駐車場を活用し加工食品等の販売を行う「事業者応援プロジェクト」などにも取組みました。各種補助金助成金等を希望する事業者の申請書作成に円滑に対応するため株式会社エフアンドエムと業務提携のうえ支援したほか、事業展開や販路拡大するうえで欠かせないパートナーとのマッチングの場の提供と課題解決の支援を行う庫内マッチングの仕組みとして「ツナグ」の充実を図るなど、様々な形で地域振興への取組みを行いました。さらには、SDGsの取組みとしてフコクしんらい生命保険株式会社と共同寄付に係る協定を締結した外、東北銀行株式会社と包括業務連携に関する協定を締結し「地方創生に関わる取組み」「中小事業者への資金供給」「中小事業者に対する本業支援」「災害時の相互支援」「人材の育成」等の相互連携と協働による活動を推進し、地域の課題解決を図ることとしております。

これらの取組みにより、当金庫の業績は、預金積金は期中平均残高が前期比16億円増加の1,079億円、期末残高が前期比16億円増加の1,025億円となり、貸出金は期中平均残高が前期比0.2億円増加の519億円、期末残高が前期比0.8億円減少の517億円となりました。収益面では、業務収益ベースで前期比63百万円増加の1,382百万円、当期純利益が56百万円となりました。

当金庫では、「内部統制基本方針」に基づきガバナンスやコンプライアンス態勢、リスク管理態勢等、内部管理態勢のさらなる充実・強化に努めております。

今後の当地域の経済環境は、長期化していた新型コロナウイルス感染症の影響は限定的なものとなっていくものと予想される中、当金庫は、コロナウイルス感染症の回復局面において中小企業者・個人の資金ニーズに対し迅速に対応するため、各関係機関とも連携を図りながら資金対応、条件変更等あらゆる状況に対処する体制を整えております。これまで以上に、円滑な金融仲介機能の発揮とコンサルティング機能の強化により、中小企業の育成に取組み、お客様本位の良質な金融サービスの提供と地域貢献の取組みを継続し、地域社会の繁栄に貢献してまいり所存であります。今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年6月

理事長 **木村幸男**

庶務の概要

総代会

- 令和4年6月17日 第74回通常総代会を開催し下記議案を付議し、いずれも原案どおり承認されました。
- 報告事項
第74期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
(1) 監査報告の件
(2) 業務報告、貸借対照表および損益計算書の報告の件
- 決議事項
第1号議案 第74期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)剰余金処分案の承認を求める件
第2号議案 所在不明会員の除名に関する件
第3号議案 理事の任期満了に伴う選任の件
第4号議案 監事の任期満了に伴う選任の件
第5号議案 退任理事及び退任監事に対する退職慰労金支給の件

その他主な事項

- 令和4年5月18日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
6月8日 冷凍・自動販売機設置に関する事業者説明会
6月15日 「信用金庫の日」PR活動
6月15日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
7月3日 第48回北上信用金庫ゴルフ大会
7月9日 北上市創業支援塾
7月20日 よろず支援拠点出張相談会(西和賀支店)
8月15日 振込詐欺被害防止運動
8月17日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
9月13日～ 事業者応援プロジェクト
10月13日 さわやか信用金庫物産展
10月19日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
10月29日 北上市創業支援塾
11月2日 いきいきゲーム授業 北上市立和賀東小学校
11月9日～10日 ビジネスマッチ東北2022秋 夢メッセみやぎ
11月15日 第7回遺言・相続全国一斉相談会(柳原支店)
11月16日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
11月28日 いきいきゲーム授業 北上市立黒沢尻北小学校
12月5日 よい仕事おこしフェア
12月12日 いきいきゲーム授業 北上市立黒沢尻西小学校
12月14日 総代懇談会
12月15日 振込詐欺被害防止運動
12月19日 いきいきゲーム授業 北上市立飯豊小学校
12月21日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
令和5年1月18日 フコクしんらい生命保険(株)×北上信用金庫「SDGsに係る共同寄付の覚書」締結式
1月18日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
1月26日 インボイス制度事業者向け説明会
1月29日 第22回北上信用金庫杯ソフトテニス大会
2月15日 よろず支援拠点出張相談会(柳原支店)
3月22日 東北銀行との「包括業務連携に関する協定」締結式

貸借対照表

第75期 令和5年3月31日現在

(単位 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	1,743	預 金 積 金	102,506
預 け 金	22,803	当 座 預 金	299
買 入 金 銭 債 権	2,000	普 通 預 金	55,397
金 銭 の 信 託	200	貯 蓄 預 金	597
商 品 有 価 証 券	-	通 知 預 金	109
有 価 証 券	29,087	定 期 預 金	40,494
国 債	2,669	定 期 積 金	5,065
地 方 債	5,353	そ の 他 の 預 金	541
社 債	14,486	借 用 金	700
株 式	11	借 入 金	700
そ の 他 の 証 券	6,565	そ の 他 負 債	140
貸 出 金	51,751	未 決 済 為 替 借	30
割 引 手 形	125	未 払 費 用	24
手 形 貸 付	1,330	給 付 補 填 備 金	1
証 書 貸 付	46,995	未 払 法 人 税 等	0
当 座 貸 越	3,300	前 受 収 益	17
そ の 他 資 産	651	払 戻 未 済 金	17
未 決 済 為 替 貸	20	資 産 除 去 債 務	-
信 金 中 金 出 資 金	395	そ の 他 の 負 債	49
前 払 費 用	3	賞 与 引 当 金	47
未 収 収 益	114	退 職 給 付 引 当 金	-
そ の 他 の 資 産	117	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	51
有 形 固 定 資 産	673	そ の 他 の 引 当 金	6
建 物	399	繰 延 税 金 負 債	-
土 地	198	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	22
建 設 仮 勘 定	-	債 務 保 証	120
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	74	負 債 の 部 合 計	103,594
無 形 固 定 資 産	20	(純資産の部)	
ソ フ ト ウ ェ ア	15	出 資 金	337
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	5	普 通 出 資 金	337
前 払 年 金 費 用	59	利 益 剰 余 金	5,340
繰 越 税 金 資 産	108	利 益 準 備 金	354
債 務 保 証 見 返	120	そ の 他 利 益 剰 余 金	4,985
貸 倒 引 当 金	△645	特 別 積 立 金	4,510
(うち個別貸倒引当金)	(△527)	当 期 末 処 分 剰 余 金	475
		処 分 未 済 持 分	△4
		会 員 勘 定 合 計	5,673
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△725
		土 地 再 評 価 差 額 金	32
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△693
		純 資 産 の 部 合 計	4,980
資 産 の 部 合 計	108,575	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	108,575

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

第75期 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位 千円)

科 目	金 額	
経常収益		1,385,607
資金運用収益	1,213,601	
貸出金利息	894,819	
預け金利息	34,017	
有価証券利息配当金	266,409	
その他の受入利息	18,354	
役務取引等収益	157,017	
受入為替手数料	68,069	
その他の役務収益	88,948	
その他業務収益	12,344	
外国債為替売買益	-	
国債等債券売却益	-	
国債等債券償還益	-	
その他の業務収益	12,344	
その他経常収益	2,644	
貸倒引当金戻入益	-	
償却債券取立益	42	
株式等売却益	-	
金銭の信託運用益	607	
その他の経常収益	1,994	
経常費用		1,330,135
資金調達費用	6,966	
預金利息	6,966	
給付補填備金繰入額	-	
借入金利息	-	
その他の支払利息	-	
役務取引等費用	116,113	
支払為替手数料	5,987	
その他の役務費用	110,126	
その他業務費用	44,410	
外国為替売買損	-	
国債等債券償還損	-	
国債等債券償還損	44,310	
その他の業務費用	100	
経常費用	1,150,851	
人件費	736,897	
物件費	379,308	
税金	34,645	
その他経常費用	11,793	
貸倒引当金繰入額	3,594	
貸出金償却	-	
株式等売却損	4,686	
株式等償却	-	
その他資産償却	-	
その他の経常費用	3,512	
経常利益		55,472
特別利益		
固定資産処分益	-	
その他の特別損失	-	
特別損失		963
固定資産処分損失	466	
減損損失	496	
その他の特別損失	-	
税引前当期純利益		54,509
法人税、住民税及び事業税	703	
法人税等調整額	△2,995	
法人税等合計		△2,292
当期純利益		56,801
繰越金(当期首残高)		419,127
土地再評価差額金取崩額		-
当期末処分剰余金		475,928

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資1口当たり当期純利益 82円15銭

剰余金処分

科 目	科 目
当期末処分剰余金	475,928,968円
積立金取崩額	-
剰余金処分額	6,703,632
利益準備金	-
普通出資に対する配当金(年2%)	6,703,632
特別積立金	-
繰越金(当期末残高)	469,225,336

上記の通り報告致します。

令和5年6月16日

北上信用金庫

理事長 木村幸男 常勤理事 青木 崇 理事 高橋 智
専務理事 阿部克紀 常勤理事 吉田和也 理事 佐藤直也
常務理事 菅原 高 常勤理事 藤原康史 理事 八重樫徹子
理事 高橋克史

以上各項の関係書類を精査した結果、法令、定款に従い適正に表示していると認めます。

常勤監事 佐藤義伸 員外監事 高屋敷克廣 員外監事 今野好孝
なお、北光監査法人による監査の結果、適正と認められております。

事務の概要

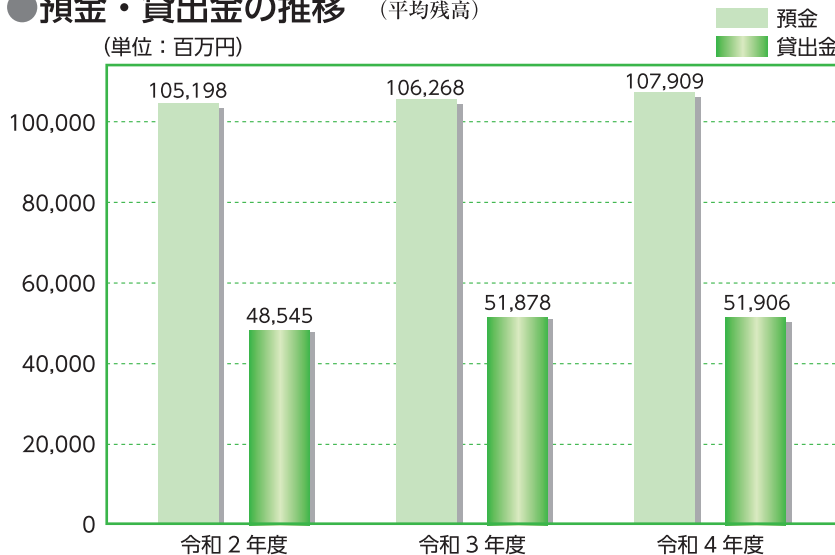
●主要勘定の動き (3月末残高)

(単位：百万円、%、人)

科 目	本年度末	前年度末	比較増減	増加率	
				当 期	前 期
預金積金	102,506	100,838	1,668	1.7	1.9
貸出金	51,751	51,840	△89	△0.2	△0.0
有価証券	29,087	28,216	871	3.1	1.3
預け金	22,803	22,386	417	1.9	△22.0
自己資本額	5,545	5,504	41	0.7	0.6
うち出資金	337	354	△17	△4.8	1.5
会員数	11,032	11,977	△945	△7.9	2.0
常勤役員	97	98	△1	△1.0	△10.7

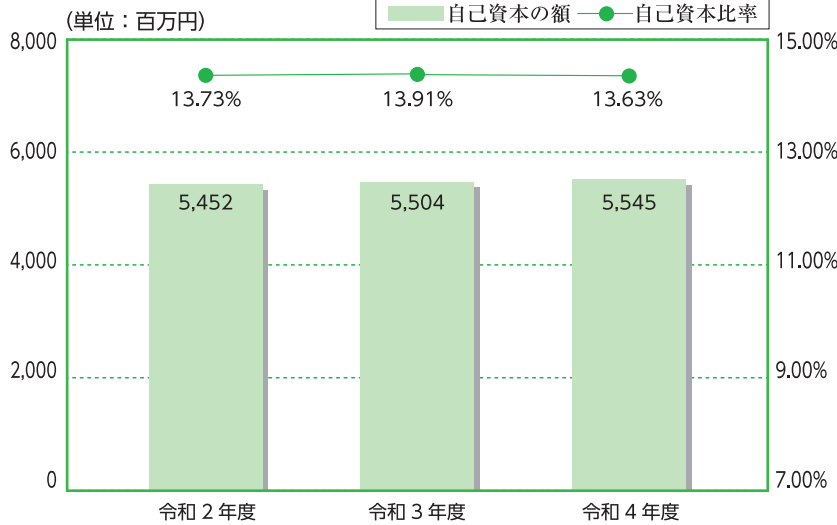
●預金・貸出金の推移 (平均残高)

(単位：百万円)



資産の健全性

●自己資本の額・自己資本比率の推移



諸積立金や貸倒引当金等を含めた自己資本額は55億円を超え高い水準を維持しています。
金融機関の健全性の指標となる自己資本比率は13.63%となり、国内基準である4%を大きく上回っております。

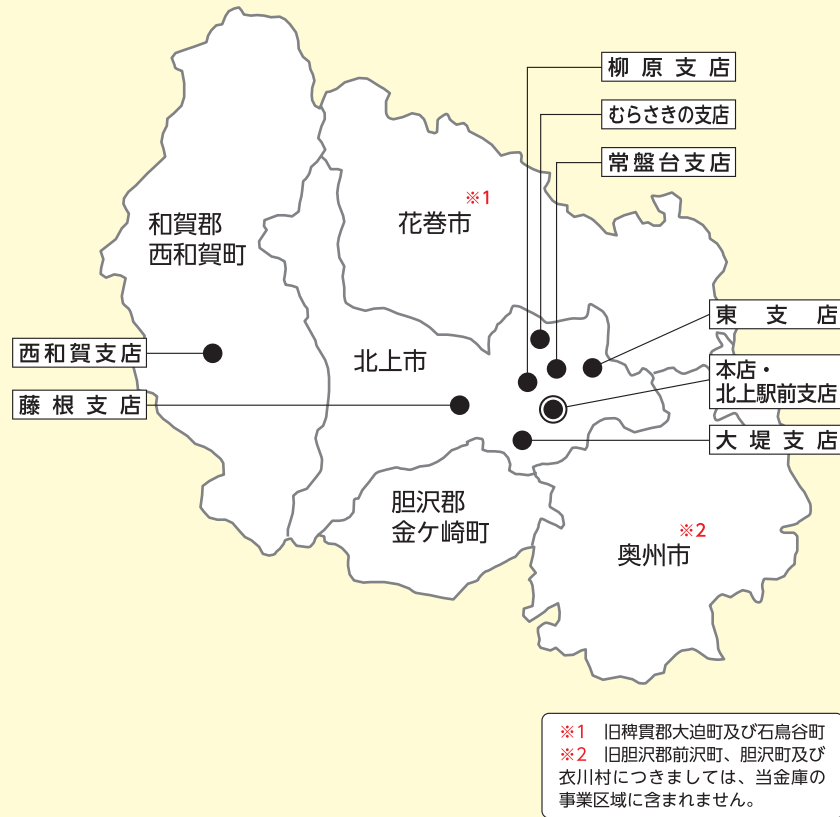
◎信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円、%)

区 分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a-c)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和 3 年度	665	665	217	448	100.00	100.00
	令和 4 年度	648	648	202	445	100.00	100.00
危険債権	令和 3 年度	339	257	170	86	75.68	51.18
	令和 4 年度	327	249	166	82	76.18	51.34
要管理債権	令和 3 年度	-	-	-	-	-	-
	令和 4 年度	367	137	120	17	37.30	4.66
	三月以上延滞債権	-	-	-	-	-	-
	貸出条件緩和債権	-	-	-	-	-	-
小 計 (A)	令和 3 年度	1,005	923	388	534	91.78	86.61
	令和 4 年度	1,343	1,034	489	545	77.02	63.85
正常債権 (B)	令和 3 年度	51,029					
	令和 4 年度	50,588					
総与信残高 (A) + (B)	令和 3 年度	52,035					
	令和 4 年度	51,931					

- 注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3.「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件 緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6.「正常債権 (B)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7.「担保・保証等による回収見込額 (c)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8.「貸倒引当金 (d)」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）。貸出金、外国為替、「その他資産」中の未取利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は貸借契約によるものに限る。）です。

《当金庫の営業区域と店舗所在地》



《営業店のご案内》

本店・北上駅前支店	岩手県北上市本通り一丁目5番30号 ☎0197-63-2307(代)
藤根支店	岩手県北上市下江釣子11-75-3 ☎0197-73-5231(代)
西和賀支店	岩手県和賀郡西和賀町川尻40地割40番地50 ☎0197-82-2220(代)
常盤台支店	岩手県北上市常盤台二丁目13番28号 ☎0197-63-6171(代)
大堤支店	岩手県北上市大堤南一丁目4番23号 ☎0197-67-2332(代)
柳原支店	岩手県北上市柳原町二丁目3番18号 ☎0197-63-2244(代)
むらさきの支店	岩手県北上市村崎野15-268-4 ☎0197-66-3133(代)
東支店	岩手県北上市黒沢尻二丁目4番13号 ☎0197-63-8511(代)